

ちが生きることになる」と、知識は絶対に大切ですが、もう一つ同じように遊び心、遊ぶ力というものも必要だと思っと思っています。楽しく何もかも忘れて遊ぶというようなことももちろんですが、先ほど佐々木大使のお話にあった知的な好奇心、それをかきたてるものは、やはり遊び心なんですね。おもしろそうと感じる心だと思えます。これは、やはり子ども時代に養われていないと、60歳を過ぎても定年退職をして、さあ遊びましょうという、全くそのベースになるものが無い、ということを身近で目にしたり聞いたりするのは、やはり、勉強だけではないのです。美郷町で今年行われたという狂言鑑賞もいいですね。おそらく狂言の世界に進まれる人は少ないかもしれませんが、その道を究めた人たちの声を聞き、触れるというだけでも、豊かな遊び心の芽が一つ生まれるのではないかなと思います。何よりも大切なのは、自然体験ですね。そういったものは、自然の中から学ぶことがすごく多いので。本当に四季折々の美しい美郷町で何気なく目にされているものが、おそらく十年後二十年後、いかに貴重で他にはないものだったかは、子どもたちが気付く日が来ると思います。その日までは、伸びやかに遊び心を育てる環境を大切にしていきたいと思っっています。

町田大使(以下、町田)...

今、非常に大きな時代の変わり目にあるという認識は共通しています。この時代のキーワードとして、私は二つあるのではないかと思っっています。一つはご指

摘のようなグローバルゼーション。国際化ではなくて、我々人類は共通の小さな星の上に住んでいるのだという自覚だろうと思っっています。もう一つ日本の場合は、イノベーションということが非常に大事になってきたと、思っっています。このイノベーションの意味は、新しい付加価値を生み出すという能力のことです。そういう観点からすると、現在の偏差値教育といえますか、決められた正解をいかに早く見つけるか、この競争を競うような教育では新しい付加価値を生み出すことにはつながらないわけです。それぞれの人間がもっている多様な能力、多様な特性をいかに生かしていくか、ということが非常に大事になってきていると思っます。

私はたまたまこの経済界に52年も身を置いていますので、今の時代、イノベーションというのが非常に大事だという意識ももっています。イノベーションというのは必ずしも大げさなことではなくて、新製品を開発することや、新しい生産方式を生み出すこともそうです。新しいマーケットを開拓するのもそう。あるいは原材料の新しい供給源を探すのもそう。ちょっとした工夫で新しい意味を生み出すこと。そのような発想の豊かなこの子どもをどう育てるか、ということが非常に大事になってきていると思っわけです。従って教育の問題について言えば、私はダイバーシティ、つまり多様性ということが非常に大事なのではないかと思っます。人間は色々な特性、能力ももっており、そういう多様な能力適正を花開かせることが非常に大事ではないかと。そ

ういう能力を磨いていくことについて、なでしこジャパンの佐々木則夫監督が「知好楽」と言っっています。知識の「知」、それから好む嫌いの「好」、そして楽しむの「楽」。つまり、よく知っっているということも大事ですが、それよりは好きかどうかということももっと大事。さらに、それを楽しんでチャレンジするかというふうなことが、腕を磨くにはプラスになる、という話です。やはり先ほど来お話がありますように、遊び心といいますが、思う存分、やりたいことをやらせるといったようなことは、これから教育の面で非常に大事なのではないかと。私も実はこの経済界の組織を動かしていくという観点で考えますと、マネージメント、人はどう動かすかということが非常に大事です。それぞれの人たちの持つ持っている性格だとか得意技だとか、そういう持ち味をよく知悉してそれを活かす。これからの教育、このポリシーを進めていかれたらいいのではないかと思っっています。

これからの美郷町に望むこと

永田...

私は、美郷町の皆さんが、この10年でさまざまな事柄に積極的に取り組んでおり、おそらく早いスピードで結果を出しているとお見受けしています。なので、このままでいいのでは、という気もします。私は、一週間前に北海道の十勝に取材に行っってきました。そのときにつくづく



思っただですが、私たちが感嘆する美しいものってというのは、私を車に乗せて色々回っけてくれている北海道の友だちにとっっては当たり前のものなんですよ。なぜこんなものがきれいなんだとか、こんな当たり前でしょって。あ、そういうことなんだ、と気が付いたんです。おそらく美郷町の皆さんもそうだと思っます。それと同時に日本の風景の美しさって、意外と手付かずの大自然ではないんです。やはりきちんと人の手の入った、人の営みの美しさが美しい風景をつくっている場合が多いんです。ですから、あまり単純に、例えば観光化したほうがいいとかというふうなことは、私は考えて

いないんですね。普通の丁寧な暮らしを営んでいるところに、私たちのようなよそ者がちよっとおじゃまして、その美しさに感嘆するというのが、一番望ましいかたちなので。今の取り組みを美郷町らしいやり方で進めていただくことが、おそらく良い結果につながるでしょうし、少しだけおじゃましていいですか、というような観光の人もきっと増えていかれるのではないかなと、思っています。

町田

10周年をトップバッターで迎えられたということ、私も永田大使と同じで、見事にこの10年、この非常に難しい統合を進められてこられたと敬意を表したいと思います。しかしながら、おそらく環境はさらに一層厳しくなる。国の財政が大変な状況になりますから、その

必ず地方に寄せられてきます。そういう意味で、これからますます地域の自立ということが難しくなってくるのではないかと思っています。

私はハイブリット論者でありまして、例えば交流人口を増やすというのは、他から自分たちがどう見えるのか、自分たちはどういうものを持っているのかを自覚する意味でも、非常に重要だと思うわけです。居心地の悪さがある程度覚悟しても、他との交わりを増やしていくということが必要だろうと思います。おそらく、同じ県内でも違った地域とは、やはり違った風土があるだろうと思います。ましてや海外ということになると、これはもう相当な違いを覚悟しなければなりません。積極的に外との交わりを増やすということが大事でしょう。

実はその地域を変革するには三つの人種、若者、よそ者、ばか者といわれています。今の時代、私は、優れたリーダーとしてそれを支えるフォロワーと、この二つが非常に大事になってきていると思います。その際に大事なのは、外から自分たちを客観的に見ることができるところ、よそ者の目、これがトップにはどうしても必要になるのではないかと思いますし、若者の活力に期待するところが多いわけです。よそ者は、さっき申し上げましたように、イノベーションというのとは違った感覚、違った価値観、違ってみればヨルゼフ・シユンペーターがいう創造的破壊、今までの考え方を壊すところから始まるわけです。そういう意味で、今までの考え方の延長上で考えない、というような挑戦が、これから我々を

む日本全体が要求されるのではないかと。ぜひ一つ続けて頑張っていたきたいなと思えます。

佐々木

全体的な感想を申しますと、口幅ったい言い方ですが、町民の方に町田大使の言うところ「イノベーション」を盛り上げるような気運をもっと持っていたきたいという感想を持って見えます。高度の何か素晴らしい技術とかということじゃなくても、社会関係のイノベーションでもいいです。社会の在り方、あるいは地域の在り方のイノベーションでも構わないし、お互いの関係のイノベーションでも結構です。

日本は今まで安定しているし、特に美郷町は自然も申し分ないし、静かだし、黙ってこのまま人生送るということが、十分、現実味のある話としてみんなが了解しているとします。しかし、先ほど町田大使からもお話がありましたように、今後は何が起こるか分からないような感じが出てきています。その中で、今までは当然と申していたことを実現するためには、相当踏ん張らないと難しくなっていくかもしれない。なので、イノベーションの気運の盛り上がりについては、美郷町にそういう気運が沢山あっても全然困らないし、秋田県全体にとっても大変

美郷大使の皆さんからは大変貴重なご提言をいただき、誠にありがとうございます。町では、いただいたご提言を参考に、よりよい美郷町の姿を目指します。

結構なことではないかなと、思います。その意味では、生産年齢人口の働いている人たちはもちろん、それを終えられた方々が持つ豊富な経験など、日本で眠っているストックが随分多いと思うわけです。本当はこういうことをやればいいと思っても、今まで働いている間は実現できなかったというようなことが、沢山あるのではないかと。そういうものを発掘し、町長や町議会議員の方々中心に新しいイノベーションを試みることはもちろん結構ですが、もっと広範な町民の方々に参画していただくような仕組みを私はぜひ期待をしたいなと。こういうふうにおやりになるかは、皆さんでお考えになるといいと思います。その意味では、やはり今日の10周年の機会というのは、重要な区切りになるのではと。入口は色々あっていいと思うのです。

例えばNPO法人をとりましても、秋田県は人口の割に不活発な県で、ナンバワンに近いくらい非常に不活発です。これは、私は長期的には由々しきことだと思っています。活用できる人的資源がたくさん眠っているのです。秋田県全体も去ることながら、ぜひ美郷町にはそういう可能性を追求していただきたい。手掛かりは何でもいいですので、リーダーシップをとっていただければ、という希望を申し上げさせてもらいます。